令和8年度　地域連携推進会議　議事録

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 事業所名 | アットホーム(こやまホーム) | | | |
| 開催日時 | 令和8年7月28日 | | | |
| 開催場所 | こやまホーム　リビング | | | |
| 出席者 | 構成員 | 人数 | | 備考 |
| | 事業所職員 | 3 | 名 | 管理者、事務局職員、サービス管理責任者 |
| | 入居者 | 1 | 名 | |
| | 入居者ご家族 | 4 | 名 | |
| | 地域の関係者 | 1 | 名 | 大東町町内会　土屋様 |
| | 福祉に知見を有する方 | 1 | 名 | 安城市社会福祉協議会職員 |
| | 経営に知見を有する方 | | 名 | |
| | 市町村担当職員 | 1 | 名 | 安城市障害福祉課職員 |

**議題**

（１）主催者挨拶・地域連携推進会議の目的等
（２）出席者紹介
（３）会計報告
（４）グループホームの取り組みおよび利用者の様子説明・近況報告
（５）施設訪問時の構成員の感想
（６）意見交換など

**協議内容・意見等**

（１）主催者挨拶　管理者より
今回より、ホームの保護者会を地域連携推進会議を兼ねて行う。グループホームは全国的に孤立、密室になりがちで不適切な対応や支援が起こりやすい。それを防止するためにも令和7年度より、これを義務化し、利用者、職員、保護者だけでなく、第三者(地域の方々)にも参加していただき、グループホームの透明性、オープンにすることを目的とする。ホームの中身を地域の方々にも知っていただくことによって虐待などを未然に防ぐ。
（２）～（３）略
（４）利用者さん達は大きな事故等もなく、安定して過ごされています。また、世話人との関係も良好であり、日常生活において大きな問題は見られていません。今後も、気になることや変化等ありましたら、メールまたは電話にてご連絡いただけると助かります。
（５）地域連携推進構成員様より
・利用者、保護者共に関係も良好であることを感じた。引き続きこの環境を維持していただきたい。
・初めて見学させていただいた。地域とはどのように接点を作っているのか気になった。
・食事はどのような物を提供しているのでしょうか？
　⇒施設長回答：食事は香流食品がホームまで配達しており、栄養バランスを考慮したメニューとなっている。野菜や主食、副菜の組み合わせに加え、汁物も提供されています。
⇒保護者回答：本人の好きなメニュー（カレーなど）を献立に取り入れてくださっており、事前に本人へ希望を聞いてくれるなど、職員が本人の意向を確認しながら対応してくれている。
・地域とはどのように関わっているのか気になりました。
⇒施設長回答：日中活動の事業所において地域との関わりを持っているため、グループホーム単体としては地域との交流は現状ない。しかし、地域住民に支えられながら運営を行っている。
（６）保護者さまより
・自分で取り組めることについては、できる限り本人に行ってもらいたい。本人の力を伸ばす関わりを大切にしてほしい。・長期休暇の時は、ホームを利用するかしないかのアンケートをとってほしい。・本人が不安定になった時はこやまホームで過ごす場合と自宅へ帰る場合がある。世話人とは良好な関係を気付いていきたいと思う一方で、支援者として仕事で関わっているという立場も意識してほしいと感じることがある。